

富山県内の働き方改革 取組事例集



ひとくらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

富山労働局

未来を創るアイペックの様々な働き方革命

株式会社アイペック

代表取締役	東出 悦子
本社所在地	富山県富山市
従業員数	77名(2025年8月現在)
事業内容	技術サービス業 非破壊検査、調査・診断、IoT開発



働き方改革の企業の課題

生産年齢人口の減少が進み、企業は限られた人材で高い成果を求められるようになっていきます。中小企業であるアイペックは、「人が育つ会社」として、社員の働きやすさと成長を重視した改革を進めています。具体的には、年間所定休日の増加、多様な働き方の導入、現状における制度の見直し、業務の効率化を目指しています。

働き方改革の企業の実施内容

- スマートムーブ制度：通勤時間や現場移動時間の短縮を目的に「直行・直帰」を推奨し距離に応じた「スマートムーブ手当」を支給。削減された時間は、自己啓発の時間や家族との時間に活用してもらい、社員の精神的・体力的なゆとりを創出しています。
- フリーアドレス制とテレワーク：2019年の新社屋移転を機に、オフィスをフリーアドレスにし、Surface（モバイルPC）やiPhoneの貸与、クラウドストレージやMicrosoft365などのツールを活用するなど、どこでも仕事ができる環境を整備しました。加えて、コミュニケーションの活性化と業務効率化が進展しました。
- 自己啓発支援制度：毎週水曜日に「自己啓発支援タイム」を設け、大会議室を自習室として開放しています。1時間以上の学習で、自己啓発支援手当を支給します。
- 声かけ運動、改善提案制度：月1回の「声かけ運動」で社員の意見を収集し、グループウェアで匿名投稿する仕組みを導入し、役員が回答する形をとっています。
- 多様な働き方：フレックスタイム制（コアタイムなし）、勤務間インターバル制度（9時間）、テレワーク制度、時間単位有休制度を導入しています。
- コミュニケーション活性支援：EPIC（エピック）の導入で、3人以上の社員同士の活動（サークル活動等）の費用を支援し、信頼関係の醸成を図ります。



取組内容についての企業のねらい、思い

人が育つ会社を目指し、お客様と共に社会が求める価値の高い技術サービスを「つながり」を通して効率よくプロとして提供し、社員の働きがいを高めることを目指す。

取組内容のポイント

1. 地域社会との連携強化

地元企業や自治体との「つながり」を重視し、共に成長・貢献する体制を構築します。

2. 「自分ブランド」の確立支援

社員一人ひとりの技術力・人間力を高め、家族・社会への貢献を実現します。

アイペックは「人が育つ会社」として、社員の働きやすさと成長を支援し、地域社会と共に未来を築く取組を進めます。



取組内容の成果

- スマートムーブ制度により、移動時間という無駄を大幅に削減しています。加えて、年間所定休日を毎年2日ずつ増やし、2025年度は年117日になりました。
- フリーアドレス制・テレワーク導入により、社内コミュニケーションの活性化、生産性の向上、時間外労働の減少を実現しています。

	2021年	2022年	2023年	2024年
月平均時間外労働時間数	37.9時間	27.5時間	25.1時間	24.9時間
有休取得率	76.3%	88.3%	89.3%	83.1%
年間所定休日	112日	113日	115日	117日

- SurfaceやMicrosoft365の導入により、誰でもどこでも仕事ができる環境を整備しています。
- 自己啓発支援制度で、業務資格の取得にむけた社員の学習意欲が向上しています。

2020年度受験者23名 合格率39.1% → 2024年度受験者153名 合格率50.3%

- 声かけ運動や改善提案制度により、社員の意見や社内の要改善事項の把握を迅速に行い、横展開を図れる体制を整備しています。（平均13件/月の改善提案有）
- 育児や介護など、各自の人生のイベントに対して柔軟に働ける環境をつくっています。

男性の育児休業取得率：100% 過去3年間の離職者：0（2025年8月現在）

厚生労働省の助成金の活用事例

2020年度働き方改革推進支援助成金を活用してテレワークなどの設備を導入

